

## 案件概要書

2011年12月28日

国際協力機構南アジア部南アジア第四課

## 1. 案件名（国名）

国名： バングラデシュ人民共和国

案件名： チッタゴン上水道改善事業（Chittagong Water Supply Improvement Project）

## 2. 事業の背景と必要性

## (1) 当該国における上水道分野の開発実績（現状）と課題

バングラデシュでは、安全な水の安定的な供給が十分に行われておらず、国民の安全な水の供給は、90年代には大きく改善がみられたものの、砒素汚染の影響が明らかになり、2010/11年度時点での達成率は74%にとどまっている。また、都市部での上水道普及率（パイプ給水）（2005年）は39%にとどまっている。当国政府は、上水道普及率の向上と共に、飲料水の9割を依存している地下水の深刻な砒素汚染や大都市における地下水位の低下等から、表流水の開発による水供給の改善を推進する方針を打ち出しており、表流水を利用した上水道整備の推進が課題となっている。

## (2) 当該国における上水道分野の開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

安全な水の供給改善と衛生状態の改善は、第6次五か年計画（2011-2015）において、国連ミレニアム開発目標達成を念頭に、優先的課題の1つとして掲げられており、安全な水の供給率を早急に100%にすることを目標に掲げている。国家水資源管理計画（2004）、国家衛生戦略（2005）、分野別開発計画（2011-2025）等において、都市部では人口増加に対応した上水道の整備、農村部では特に砒素汚染等により安全な水の供給が難しい地域での代替水源確保などにより、安全な水の供給の改善を進める計画である。特に都市部では、今後も増加が予測される需要を満たす水供給量の確保と効率的なサービス提供システムの構築を行っていくことが必要であるとして、主要4都市（ダッカ・チッタゴン・クルナ・ラジシャヒ）における上水道普及率を2005年の65%から2025年に90%、2050年に95%とする目標が設定されている。本事業は、こうした方針に合致するものである。

## (3) 上水道分野に対する我が国の援助方針

我が国の国別援助計画（2006年5月）において、援助重点分野の一つである「社会開発と人間の安全保障」にかかる開発課題として、都市の環境関連インフラ整備を含む「環境」が位置づけられている。こうした方針に基づいて、JICAは、農村給水施設の整備、都市上下水道整備を重点として取り組んできている。主な支援実績は以下の通り。

- ・有償資金協力：カルナフリ上水道整備事業、クルナ水供給事業
- ・技術協力：チッタゴン上下水道公社無収水削減推進プロジェクト、水質検査体制強化プロジェクト、持続的砒素汚染対策プロジェクト、等

## (4) 他の援助機関の対応

世界銀行は、安全な水と衛生の供給改善を貧困削減にかかる重点課題として位置づけ、ダッカやチッタゴンにおける上下水道事業への支援を実施している。アジア開発銀行（ADB）は、社会開発の中の重点課題として、都市部の上下水道整備と都市開発を位置づけ、ダッカやクルナにおける上水道整備事業や地方中規模都市の上下水道整備にかかる支援を実施している。また、都市上下水道セクターへの支援に関し、世界銀行、ADB、デンマーク、韓国、日本の間で援助協調の枠組みが合意されている。

### 3. 事業概要

#### (1) 事業の目的

本事業は、チッタゴン市において、上水道施設の整備およびチッタゴン上下水道公社の組織能力の強化を行うことにより、安全かつ安定的な上水道サービスの提供を図り、もって同市住民の生活環境の改善に貢献することを目的とするもの。

#### (2) プロジェクトサイト/対象地域名

バングラデシュ・チッタゴン市

#### (3) 事業概要

- 1) 取水施設・浄水場・送水管の建設
- 2) 配水網改善
- 3) コンサルティング・サービス

#### (4) 事業実施体制

- 1) 借入人：バングラデシュ人民共和国政府
- 2) 事業実施機関／実施体制：チッタゴン上下水道公社

#### (5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

##### 1) 環境社会配慮

- ① カテゴリ分類：B
  - ② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構 環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）に掲げる影響を及ぼしやすいセクター・特性及び影響を受けやすい地域に該当せず、環境への望ましくない影響は重大ではないと判断されるため。
- 2) 貧困削減促進等： \*協力準備調査にて検討

(6) 他スキーム、他ドナー等との連携：実施中の技術協力プロジェクト「チッタゴン上下水道公社無収水削減推進プロジェクト」の成果に基づいて本事業で配水網改善を行う。チッタゴンでは、世界銀行が上下水道施設の改善を支援しており、連携・役割分担を行う。

(7) その他特記事項：現時点では、完成までの工期は5～7年を想定しているが、協力準備調査にて検討。

### 4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

#### (1) 類似案件の評価結果

過去の上水道セクターの類似事業の事後評価から、事業の持続性確保のために、水道料金収入増加等を含む水道事業体の財務状況の健全化、経営の改善・強化が重要であるとの指摘がある。

#### (2) 本事業への教訓

本事業における実施機関は適切な給水サービスを提供できていないことから、特に、技術協力プロジェクトや世界銀行と連携・役割分担しつつ、実施機関の組織強化及び経営改善を実施していく方針。

以 上

[別添資料] 事業対象地域地図

